

平成29年度美瑛町町勢要覧

◎位置・面積

北緯43度35分・東経142度28分の北海道のほぼ中央に位置し、旭川市・芦別市・東神楽町など2市6町に隣接しています。地勢は波状丘陵を呈し、畑が開けています。地質は東部山麓が石英粗面岩質、西部が湖成洪積土壌ですが、大部分は河成沖積土壌が多くなっています。

気象は、年の平均気温は5.2℃、年間降水量は1,000mmとなっており、寒暖の差が激しい内陸性の気候で、明確な春夏秋冬の美しい自然に恵まれています。

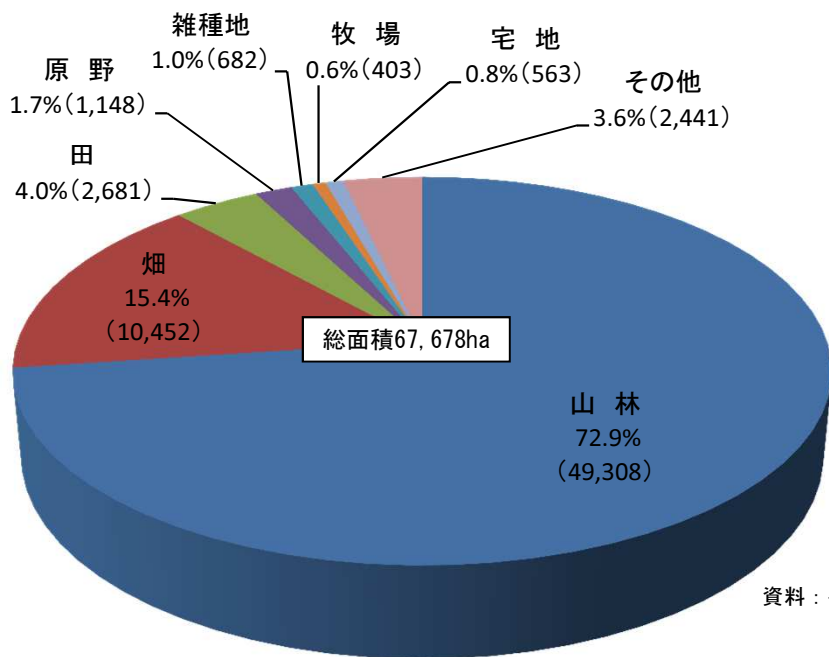


図1 土地の利用状況（地目別面積）

資料：平成29年度土地に関する概要調査等報告書

◎人口

美瑛町まちづくり総合計画では、近年の自然回帰志向の高まりに伴う田園居住傾向や、都市と農村山の交流機会の拡充に伴う新たな産業形成などを通じて雇用機会の創出や拡大を図り、平成37年（2025）の本町人口が9,300人程度を維持することを目標としています。

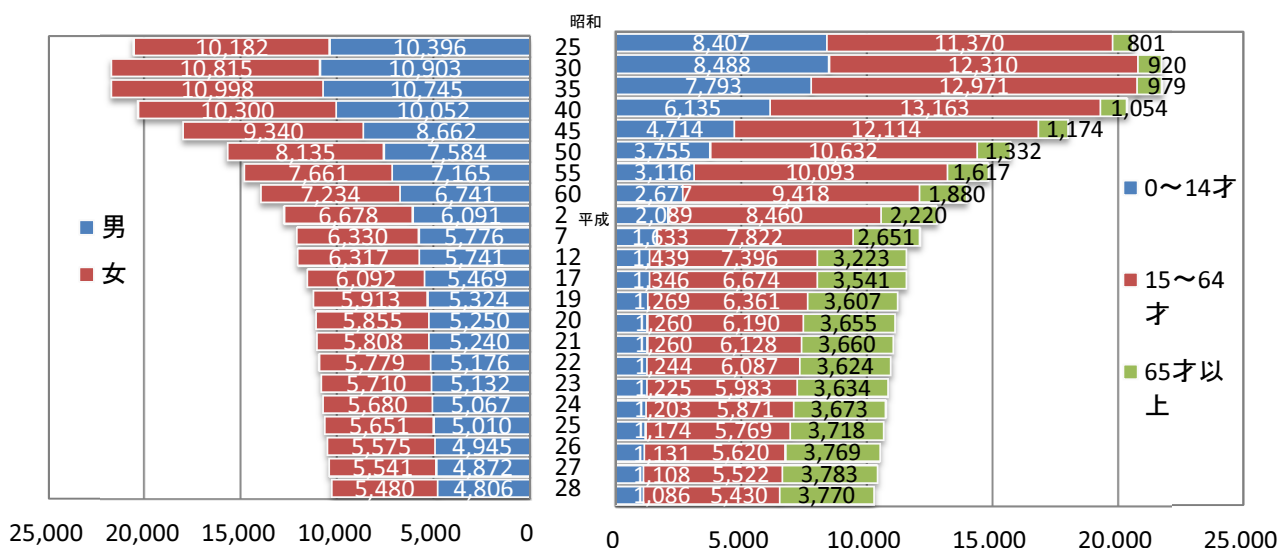


図2 男女別人口 (人)

図3 年齢別人口 (人)

◎財政

表1 各会計予算集計表（平成29年当初予算）

会 計 区 分		予 算 額
一 般 会 計		9,859,000 千円
特 別 会 計	国民健康保険会計	258 千円
	老人保健施設事業会計	105,758 千円
	水力発電事業会計	31,863 千円
	白金泉源事業会計	15,976 千円
	公共下水道事業会計	525,387 千円
	計	679,242 千円
企 業 会 計	水道事業	収益的支出 319,354 千円 資本的支出 203,651 千円
	小 計	523,005 千円
	病院事業	収益的支出 1,271,349 千円 資本的支出 136,913 千円
	小 計	1,408,262 千円
合 計		12,469,509 千円

図4 一般会計予算額の推移（単位：千円）

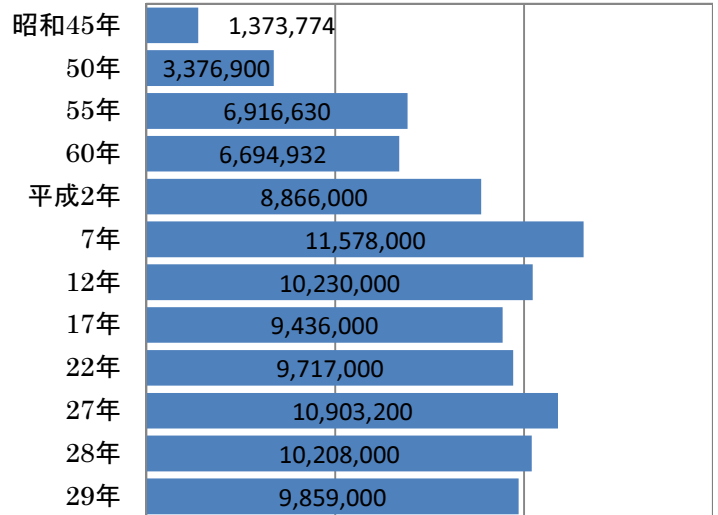


図5 平成29年度一般会計予算

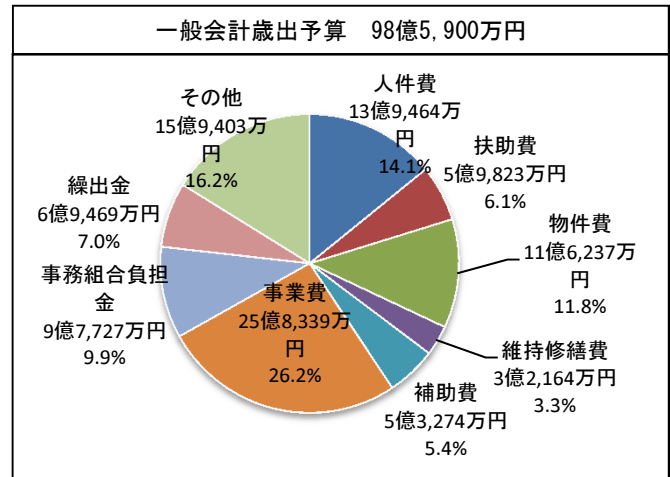
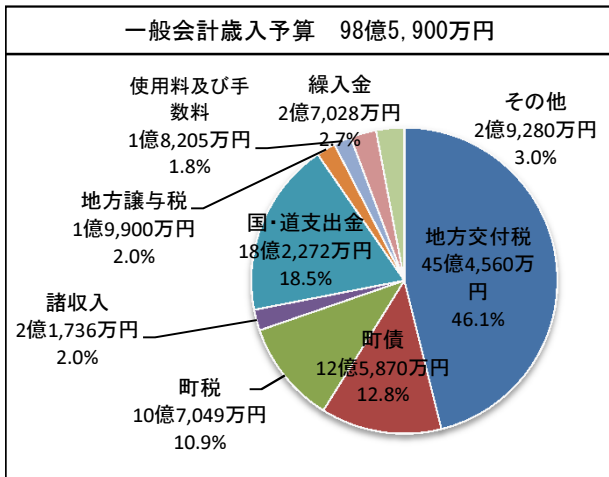
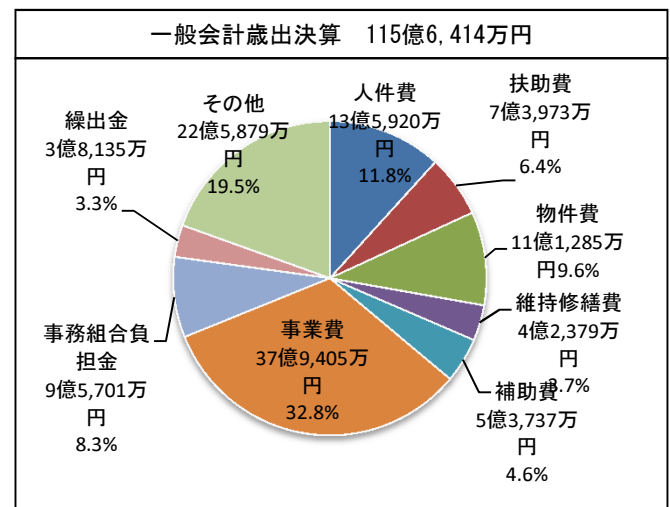
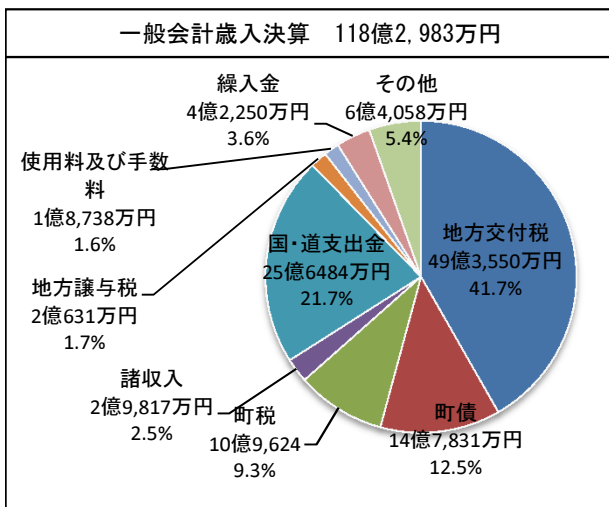


図6 平成28年度一般会計決算



◎行政

表2 住民組織（平成29年3月31日現在）

行政区	集 落 会			町 内 会		
	会 数	班 数	会 員 数	会 数	班 数	会 員 数
32	93	151	1,121	37	204	2,930

表3 町職員（平成29年4月1日現在）

	町 長 部 局	議会事務局	監査委員	農委事務局	選管事務局	教育委員会
定 数	239（内85は町立病院）	4	1	4	1	27
現員数	183（内59は町立病院）	3	兼1	3	兼1	19

表4 選挙人名簿登録人数（平成29年3月31日現在）

	男	女	合計
人 数	4,140人	4,743人	8,883人

図7 議会構成

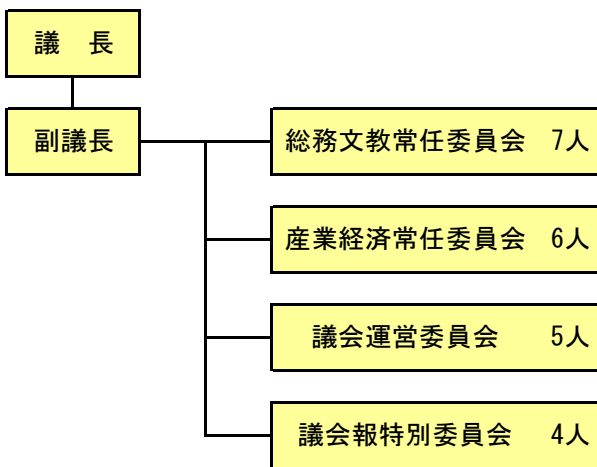
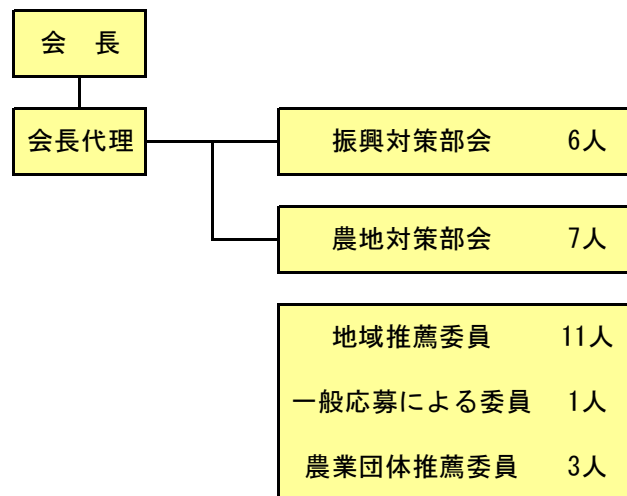


図8 農業委員会構成



◎機構図 図9 美瑛町機構図（平成29年4月1日現在）

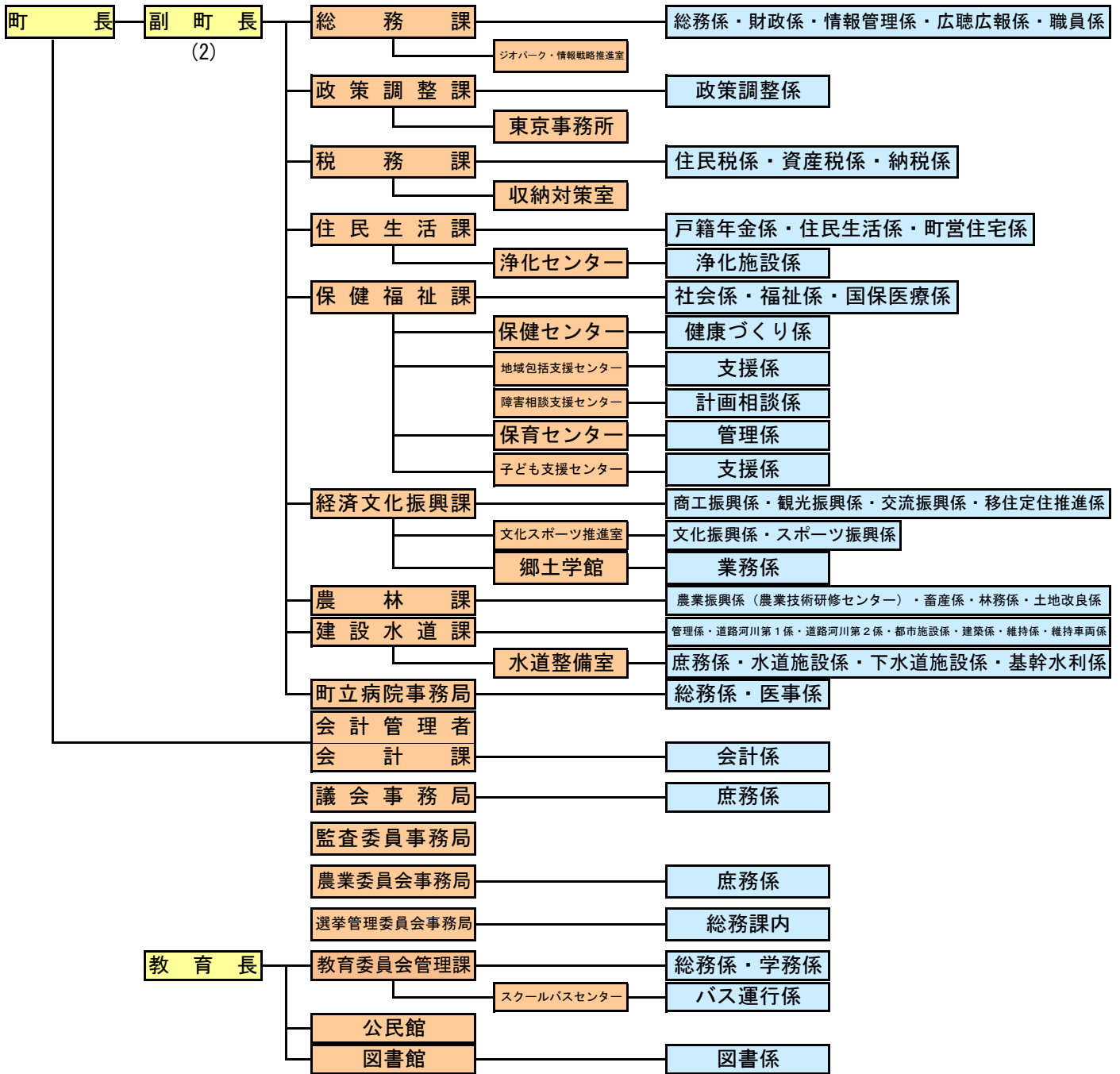


図10-1 一部事務組合機構図
（美瑛・東川・東神楽3町で構成）

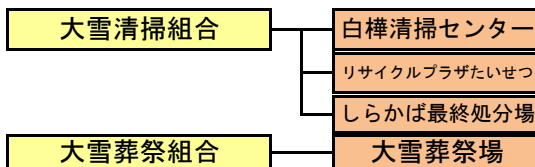


図10-2 一部事務組合（大雪消防組合）機構図
（美瑛・東川・東神楽・当麻・比布・愛別6町で構成）

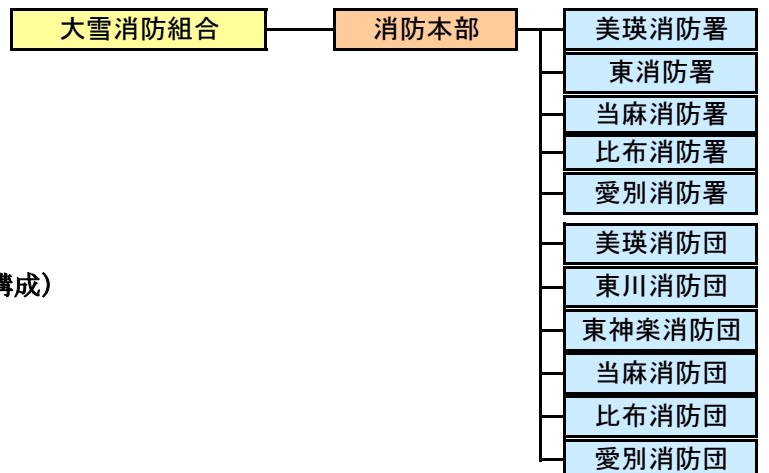
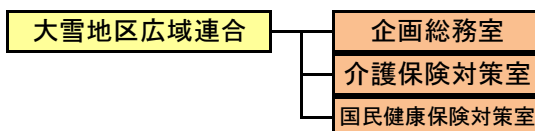


図11 広域連合機構図（美瑛・東川・東神楽3町で構成）



◎農林業

美瑛町の農業は、畑作と稲作により発展してきましたが、近年では水田の転作による施設野菜や高収益作物の栽培も盛んとなり、田・野菜複合や畑・野菜複合などの複合経営も多くなっています。独特の波状丘陵の台地に畑が広がり、丘陵をぬって流れる河川流域が水田地帯となっているのが特徴で、国土や環境の維持・保全機能は勿論のこと、人の心に癒しや安らぎを与える美しい農村景観を目的に多くの人が訪れるようになり、観光資源としても、本町の地域経済の基盤として大きな役割を果たしています。



しかし、本町においても農業者の高齢化は深刻な問題となっており、さらに担い手・後継者不足や離農により、農家戸数が減少するなど、遊休農地の発生や地域社会・集落機能の低下が器具されています。

表5 農家数・人口

年次	農家数(戸)				農家人口(人)
	総数	専業	1種兼業	2種兼業	
昭和60年	1,059	669	297	93	4,726
平成2年	941	587	291	63	4,211
平成7年	820	457	298	65	3,648
平成12年	635	339	254	42	2,945
平成17年	551	326	205	20	2,555
平成22年	495	318	145	32	2,000
平成27年	434	321	83	30	1,714

表5・図10 資料：農林業センサス

図12 経営規模(平成27年)

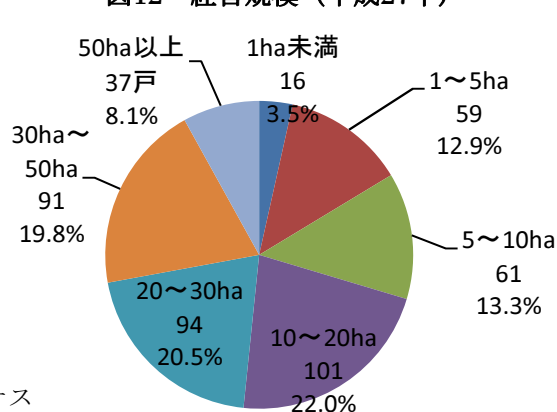


図13 耕地面積(平成29年5月現在) (ha) 資料：北海道農林水産統計年報



図14 主要作物の作付状況(平成28年度) (ha) 資料：区域内農業生産実績(JA)



図15 農業生産額(平成28年度) (百万円) 資料：区域内農業生産実績(JA)



図16 飼育頭数(平成29年2月現在) (頭・羽) 資料：北海道農林水産統計年報

表6 農業ダム施設一覧表（平成29年4月1日現在）

ダム名	河川名	所在地	事業目的	施工年	流域面積 (km ²)	総貯水量 (千m ³)	有効貯水量 (千m ³)	常時満水位 (m)	湛水面積 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	形式	受益面積 (ha)	関係市町村
聖台	美瑛川 宇莫別川	中宇莫別	かんがい	昭和12年	57.10	3,999	3,981	278.2	0.510	29.7	485.4	アースダム	1,050	旭川市 東神楽町
水沢	美瑛川 水沢川	水沢	かんがい	昭和39年	3.10	945	906	303.5	0.220	14.5	125.2	アースダム	483	美瑛町 旭川市
しろがね	美瑛川 オヤウンナイ川	白金	かんがい	平成4年	直接流域 6.00 間接流域 67.00	6,800	6,664	512.5	0.485	63.5	611.0	フィルダム	水田 1,481 畑 7,335	美瑛町 上富良野町 中富良野町
新区画	美瑛川 置杵牛川 ニタチパウマイ川	新区画	かんがい	昭和49年	直接流域 5.10 間接流域 38.50	5,600	5,223	291.6	0.455	32.3	274.7	アースダム	水田 1,481 畑 7,335	旭川市 東神楽町 美瑛町

林業では、森林面積が全町の約7割を占め、その約1/3が民有林であり、この多くが人口林となっています。

森林は、単に木材生産のみだけではなく、国土の保有・水源のかん養・地球温暖化の防止といった多面にわたる機能を有しており、これらの機能持続的に発揮させるために健全な森林を積極的に造成し、育成する森林整備が必要です。

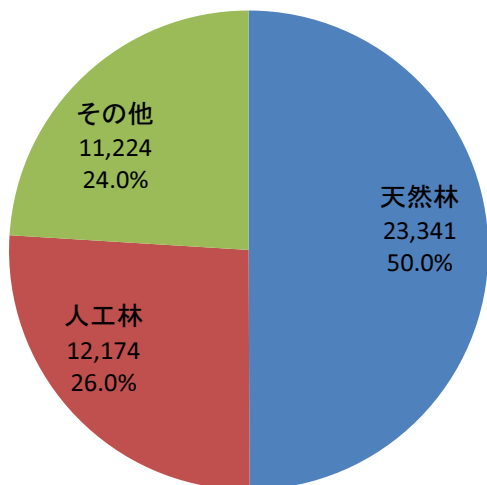
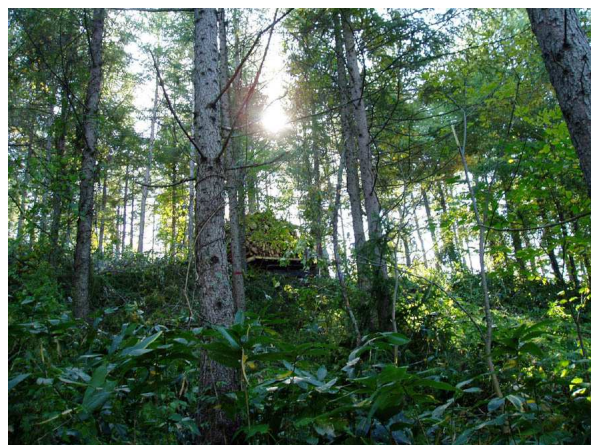


図17 森林面積 (ha) (平成29年4月現在)

資料：北海道林業統計



◎商工業

豊富な農産物と観光資源を基盤として、農業や観光産業はもとより、多くの商工業が営まれてきました。しかし、商圈拡大に伴って流出する購買力に歯止めをかけることができず、厳しい状況が続いています。

こうしたなか、中心市街地の活性化を目指して整備が進められた地域資源活用総合交流促進施設（ラヴニール）では、産業の連携による起業の促進や新事業展開のバックアップと、交流人口を町内に誘導する役割が期待されています。また産業の育成・振興を目指し「美瑛ブランド」の創出を推進し、地域における産業間の連携促進と振興が必要となっています。



表7 商工業の状況

区 分	平成24年度			平成26年度		
	事業所数	従業員数（人）	販売額（百万円）	事業所数	従業員数（人）	販売額（百万円）
A～B農林漁業	25	273	3,919	23	226	3,579
C鉱業、採石業、砂利採取業	2	12	—	1	2	—
D建設業	38	314	—	29	282	—
E製造業	29	241	5,354	35	261	4,451
F電気・ガス・熱供給・水道業	1	4	—	—	—	—
G情報通信業	1	2	—	1	5	—
H運輸業、郵便業	21	258	—	10	212	—
I卸売業、小売業	99	652	19,710	115	682	17,530
J金融業、保険業	3	18	—	—	—	—
K不動産業、物品賃貸業	9	18	69	12	23	80
L学術研究、専門・技術サービス業	10	20	100	10	27	89
M宿泊業、飲食サービス業	91	414	2,186	95	455	2,525
N生活関連サービス業、娯楽業	31	78	684	30	61	554
O教育、学習支援業	10	43	—	11	52	—
P医療、福祉	23	263	1,187	17	219	1,322
Q複合サービス事業	8	85	—	4	48	—
Rサービス業（他に分類されないもの）	25	146	—	22	106	—

資料：経済センサス

◎建設

美瑛町の町道は、沢地を通り市街地と集落を連結する道路、丘陵地帯の高台を通り集落と耕地を結ぶ道路、沢と沢とを横断し集落を結ぶ道路に大別され、510路線653.8kmを有していますが、地域が広大であることと地理的要因により改良率67.4%（440.7km）、舗装率49.3%（322.5km）となっています。

水道施設が整備されているのは、本町地区（市街地から旭・下宇莫別地区）、白金地区（白金から置杵牛）、平和地区（美沢から瑠辺薬）、五稜地区（五稜から旭地区の一部）と公共下水道事業は、昭和49年度に基本計画が立案され、昭和51年度に着手して以来、処理普及率は65.5%となっています。

表8 町道

路線数	実延長 (m)	改良済 (m)	未舗装道 (m)	舗装道 (m) (セメント系)	舗装道 (m) (アスファルト系)	簡易舗装 (m) (アスファルト系)	舗装合計 (m)
510	653,791	440,728 (67.4%)	331,252 (50.7%)	6,554 (1.0%)	103,418 (15.8%)	212,567 (32.5%)	322,539 (49.3%)

表9 橋梁

橋梁数	延長 (m)	面積 (㎡)	永 久 橋		
			橋梁数	延長 (m)	面積 (㎡)
164	3,533	26,908	164	3,533	26,908



表10 上水道の状況

項 目	水道事業
行政区域内人口 (人)	10,286
給水区域内人口 (人)	9,856
給水人口 (人)	9,129
給水戸数 (戸)	4,272
普及率 (%)	92.6
年間総配水量 (㎥)	1,063,740
1日平均配水量 (㎥)	3,508
1日1人平均配水量 (ℓ)	384
管路布設総延長 (km)	315
浄水場施設 (カ所)	5

表11 公共下水道の状況

目標年次	平成33年
計画処理区域 (ha)	382
雨水管渠延長 (m)	53,960
污水管渠延長 (m)	67,270
計画人口 (人)	6,300
行政区域内人口 (人)	10,286
処理区域内人口 (人)	6,734
行政人口普及率 (%)	65.5
処理区域内水洗普及率 (%)	96.3

◎福祉

表12 国民年金の状況

	被保険者数				受給者（拠出）	受給者（福祉）	
	総数	1号	任意	3号	総数	総数	給付
平成28年度	2,262	1,675	27	560	3,876	0	0

◎保健衛生

表13 医療施設の状況

病院	診療所	病床	歯科	薬局	保健センター
1	2	98	4	5	1

表14 ごみ収集と処理の状況

区分	収集車搬入量		一般車搬入量		合計		備考
	台	重量 (kg)	台	重量 (kg)	台	重量 (kg)	
可燃ごみ	883	1,578,500	8,383	1,074,420	9,266	2,652,920	
不燃ごみ	279	114,050	2,305	308,080	2,584	422,130	粗大ごみ含む
焼却灰	26	8,680	-	-	26	8,680	

表15 ごみ収集と処理の状況（リサイクルプラザたいせつ）（kg）

びん類	缶類	ペットボトル	プラスチック	紙類	布類	持込紙類	合計
95,810	18,380	31,960	61,400	民間処理	0	2,730	210,280

表16 社会福祉施設

施設名			定員
保 育 所	常設	どんぐり	130人
	へき地	美田	30人
	〃	ルベシベ	30人
	〃	美馬牛	30人
	〃	美沢	30人
	〃	下宇莫別	30人
	〃	朗根内	30人
	〃	置杵牛	-
	〃	旭	-
児童館		なかよし児童館	-
介護老人 保健施設	ほの香		入所 60人
			通所 30人

※休所中
※休所中

◎観光

美瑛町の観光をけん引してきた「びえい白金温泉」をはじめ、雄大な大雪山国立公園十勝岳連峰と山麓に広がる波状丘陵地帯で営まれている農業が織り成す四季の景観が、人々に感動を与え「丘のまちびえい」として全国的に有名になりました。

町では1年を通じた交流人口の拡大や「丘のまちびえい」のブランド力向上を目的とした参加型のスポーツイベントを開催しています。6月には丘のまちびえいヘルシーマラソン、9月には丘のまちびえいセンチュリーライド、2月には丘のまちびえい宮様国際スキーマラソンを開催し、道内外のスポーツ愛好家へ四季折々に移りゆく美瑛の魅力を発信します。



表17 観光客の入込客数（人）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
美瑛町全体	1,130,218	1,332,000	1,494,100	1,791,000	1,698,400	1,659,600
白金地区	376,811	436,129	424,653	444,651	455,251	461,719
四季の情報館	93,514	102,605		118,165	146,795	147,445
十勝岳火山砂防情報センター	9,915	9,045	9,671	12,194	11,954	12,358
白金インフォメーションセンター	11,186	27,135	27,464	24,444	22,212	18,610

表18 美瑛駅乗車人員（人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
乗車人員	187,245	182,268	186,398	180,742	189,070	187,610	-

◎消防・警察

表19 車両の状況（平成29年3月31日現在）

車両種類	ポンプ車	タンク車	水槽車	救急車	指揮車	人員輸送車	資機材搬送車
台数	6	7	8	9	10	11	2

表20 救急活動の状況（平成28年1月1日～12月31日）

事故種別	火災	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計	1日当
出動件数	1	69	5	4	89	3	378	93	6	648	1.77
搬送人員	1	88	7	4	86	2	365	93	1	647	1.76

表21 交通事故発生状況（件・人）

事故種別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
発生件数	410	352	380	377	406	398	393
人身事故	34	20	19	12	15	6	15
物損事故	376	332	361	365	391	392	378
死亡	1	2	1	1	0	0	0

◎教育・文化

美瑛町は地理的条件から学校数が多く、最盛期には小学校22校、中学校11校の計33校を数えました。しかし、少子化に伴い児童生徒数が減少し、平成11年度には学校統合検討委員会が設置され、整備統合についての検討がなされました。その結果、現在は小学校5校、中学校2校の計7校で、児童生徒数は701人となっています。

図書館は、昭和38年に建設された公民館施設内に図書室として設置されたのが始まりで、昭和54年の大規模改修によって1階が図書館、2階を郷土資料館として運用していました。しかし、建物の老朽化により新たな図書館・郷土資料館の建設が検討され、平成24年6月にカラマツ材を使用した図書館がオープンしました。また本町の郷土・自然及び天文について町民をはじめ多くの方が学ぶことのできる施設として「郷土学館」が平成28年7月にオープンしました。



表22 学校の状況（平成29年5月1日）

区分	学校数	学級数	教員数
幼稚園	1	5	10
小学校	5	46	79
中学校	2	16	36
高校	1	6	21



表23 園児・児童・生徒数（平成29年5月1日）

区分	児童生徒数	学年別						うち特別支援
		1	2	3	4	5	6	
保育園	139	2 (0歳)	28 (1歳)	22 (2歳)	35 (3歳)	23 (4歳)	29 (5歳)	
幼稚園	77	25 (年少)	26 (年中)	26 (年長)				
小学校	447	83	83	69	66	66	80	70
中学校	254	84	81	89				20
高校	126	43	46	37				

表24 郷土学館の利用状況（平成28年度）

開館日数	223 日	※H28. 7. 9~H29. 3. 31
入館者数	10,180 人	
うち天文台	2,013 人	
展示数	約150 点	
収蔵数	約2,000 点	

表25 図書館の利用状況（平成28年度）

開館日数	285 日
入館者数	54,490 人
利用者数	21,589 人
総貸出冊数	102,003 冊
蔵書冊数	65,420 冊
町民1人当貸出数	9.9 冊
町民1人当蔵書数	6.0 冊